かながわ学びづくり推進地域研究委託事業（寒川町）

さむかわ学びっ子育成事業

＜研究テーマ＞　確かな学力を身につける教育の推進　～豊かな心と確かな力　瞳輝く寒川の子～

寒川町では、「主体的・対話的で深い学びのある授業」の実現に向けて、各学校で講師を招聘し、校内研究について御指導をいただいております。
小・中全8校というスケールメリットを生かして、校内研究における公開講演会・授業研究会を開催し、実践についての交流を図っています。
令和6年度につきましても、校内研究を柱とした「主体的・対話的で深い学び」の授業改善の実現に向けて、各校での研究に生かすことができるように取り組みました。

寒川小学校

今年度も「はてな・なるほど・だったら」の視点で算数科の授業を通して「何を学んだのか」、「何を身につけたのか」が実感できるように改めて「なるほど！」を中心に研究を行いました。本時の目標の達成に結びつくよう、子どもの心が揺れ動く「はてな？」をクラスの全員でたくさん考えることができました。

一之宮小学校

議論する道徳から脱却し、「対話」する道徳へ変えるために、①自分の考えをもち、自分を大切にし、自分の良さに気づく子ども②自分の考えをよりよく伝え、他者の意見を聞き入れ、他者の意見を認める子どもを目指しました。対話するためには、子どもたち同士が質問し合うことが大切であり、どんどん質問できる環境づくりに努めました。

旭小学校

今年度より、研究テーマを新たにし、情報通信総合研究所の平井聡一郎先生にご指導いただきました。教科を絞らずに、ICTを活用し子どもが主体的・協働的に学ぶことができる授業の研究を行い、これまでの教育実践に加え、学習場面に応じた有効なICT活用方法について議論しながら研究に取り組みました。

小谷小学校

算数科で「学び合いを通して、共に学ぶ良さを実感できる授業づくり」の研究に取り組みました。今年度は、昨年に引き続き「問いが生まれる」の段階から次の「問いがつながる」の段階に取り組み、「図形分野」の領域に焦点を当て、1年から6年までの縦系列のつながり方（どのようにつながっていくか）を研究しました。

南小学校

国語科の学習において、子どもたちの中に生じる考えの「ずれ」をもとに、話し合いをしながら自分の考えを広げ、深める研究を行いました。話し合いをするために自分の考えを「持つ」、話し合いを通して「広げる」、「深める」と段階的な取り組みを進め、今年度は、自分の考えを「広げる」に焦点を当てて研究を進めました。

寒川中学校

本校の生徒実態をふまえ、本年度より、生徒の「自己肯定感」を高めることを目的に校内研究を進めていきました。自己肯定感を高めるための手立てとして「形成的評価」に着目し、形成的評価の取り組みが、生徒の自己肯定感にどのような影響を与えるのかについて全校的に研究を行いました。

旭が丘中学校

「自己肯定感を高める支援のあり方」に焦点を当てて、一層の指導法の拡充と向上を図るように努めました。特に「ポジティブ行動支援（PBS）」を基軸とし、その指導法を模索しながら研究を深めました。ポジティブ行動支援による教育を“肯定的、積極的”に展開することにより、生徒と教員の笑顔が輝くアプローチの実践ができました。

寒川東中学校

昨年度に引き続き「各教科や各学習場面においてどのようなタブレットの使い方が効果的か」を研究の柱とし、本校で令和2年度まで研究を行っていた理解確認、理解深化の課題設定・授業展開作りを継承しつつ、タブレットを活用することで子どもたちが「生き生きと」授業に取り組み、確かな力を着実に身につけさせる授業づくりを研究しました。